

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公民館耐震化事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進			
基本事業	2	公民館活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 斎田公民館・大津中央公民館						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	公民館の耐震化を実施し、地域の社会教育の拠点となる施設の整備を図る。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	耐震診断の結果、耐震性能を満たしていないと判断された3館(斎田・大津中央・堀江)のうち斎田・大津中央公民館について、耐震改修工事設計を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		公民館の耐震化率	58	67	75	83	83	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	耐震診断の結果、耐震性能を満たしていないと判断された3館のうち、斎田公民館の耐震改修工事を完了した。大津中央公民館については耐震改修工事設計を行うなど、耐震化への準備を進めた。また、堀江公民館については、耐震化のあり方を検討するため、地域説明会を開催した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震改修を行った公民館数	0	1	1	0	館
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	公民館の耐震化率		58	67	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	8,348	0	64,000	0	18,068	90,416
		補正予算額	8,955	3,002	△ 21,100	0	△ 5,292	△ 14,435
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	17,303	3,002	42,900	0	12,776	75,981
		決算額	17,303	2,921	42,900	0	12,857	75,981
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.6	0.0	4,340		80,321		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：公民館耐震化事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	6,572	75,981	27,200	未定	未定
	うち一般財源	4,268	12,857	25,179	未定	未定
	人件費	2,140	4,340	2,170	未定	未定
	総事業費	8,712	80,321	29,370	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	斎田公民館の耐震改修工事を完了した。大津中央公民館については、耐震改修工事設計を行うなど、耐震化への準備を進めた。
	効率性	B:概ね効率的だった	工事内容等について事前に関係者との協議を行うなど、効率的に事業が進められるよう努めた。
②成果に対する評価	指標名	公民館の耐震化率	
	目標	67	%
	実績	67	%
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	公民館の耐震化へ向け設計を進めるとともに関係者との協議を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域の関係者とも協議を行いながら、公民館の耐震化を進め、地域の社会教育の拠点として積極的に活用されるような施設として整備を進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	大津中央公民館耐震改修工事を進めるとともに、堀江公民館については、地域の要望を踏まえ、設計や計画・協議を進める。また、小規模館については、施設の老朽度や利用状況、類似施設の配置状況などを勘案しながら、今後の施設の集約などについて検討を行う。			
	H31年度	H29年度の設計や計画・協議内容をもとに耐震改修工事等に向けた作業を進める。			